



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月1日

上場会社名 株式会社銀座ルノアール 上場取引所 東  
 コード番号 9853 URL https://www.ginza-renoir.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮山 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 遠藤 芳子 TEL 03-5342-0881  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	3,954	0.8	218	△9.2	238	△7.9	132	△52.7
30年3月期第2四半期	3,923	2.7	240	27.2	258	24.5	279	140.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 138百万円 (△51.3%) 30年3月期第2四半期 284百万円 (153.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	21.68	21.65
30年3月期第2四半期	45.88	45.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	6,716	5,769	85.3	938.46
30年3月期	6,860	5,715	82.7	930.28

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,728百万円 30年3月期 5,673百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,042	3.7	469	43.2	506	38.8	290	77.8	47.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	6,252,004株	30年3月期	6,252,004株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	147,526株	30年3月期	153,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	6,100,248株	30年3月期2Q	6,098,478株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来についての記述等に関する注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境改善等、引き続き緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費については所得の伸び悩みや根強い節約志向等、依然として弱さがみられ、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、実体経済の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、原材料価格の高騰や労働需給の変化による人材採用難に伴う人件費の上昇に加え、出店地の選択において、競合各社による競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは平成30年6月ミヤマ珈琲大船駅前店を新規オープンし、平成30年4月東京駅八重洲北口店、上野しのぼり口店、平成30年6月品川高輪口店、池袋サンシャイン60通り店、平成30年7月御徒町南口駅前店、新大久保駅前店、平成30年8月ニュー新宿3丁目店を改装オープンいたしました。また、カフェ・ミヤマ目黒東口駅前店を業態変更し、平成30年9月カフェ・ルノアール目黒東口駅前店としてオープンいたしました。

今後、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

また、店舗数につきましては、平成30年5月カフェ・ルノアールヨドバシAkiba横店、平成30年7月西銀座店を閉店致しましたので、119店舗（内2店舗はFC）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,954百万円（前年同期比31百万円増）、営業利益は218百万円（前年同期比22百万円減）、経常利益は238百万円（前年同期比20百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円（前年同期比147百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、6,716百万円となり前連結会計年度末に比べ143百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が39百万円増加したものの、現金及び預金が114百万円、その他流動資産が112百万円減少したことによるものであります。

負債は947百万円となり前連結会計年度末に比べ197百万円の減少となりました。これは主に、その他流動負債が80百万円、未払法人税等が32百万円、リース債務が24百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は5,769百万円となり前連結会計年度末に比べ53百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が46百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は85.3%（前連結会計年度末は82.7%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,012百万円となり前連結会計年度末に比べ114百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は186百万円（前年同期比160百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が232百万円、減価償却費が106百万円計上されたものの、法人税等の支払額が126百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は191百万円（前年同期比145百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が178百万円、敷金及び保証金の差入による支出が19百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は109百万円（前年同期比3百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払額が85百万円、リース債務の返済による支出が24百万円あったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,675	2,056,822
売掛金	21,406	60,005
商品	33,416	29,825
その他	296,193	183,637
流動資産合計	2,522,691	2,330,291
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,693,640	3,742,550
減価償却累計額	△2,566,389	△2,561,867
建物(純額)	1,127,250	1,180,683
工具、器具及び備品	353,762	363,158
減価償却累計額	△300,760	△300,804
工具、器具及び備品(純額)	53,001	62,354
土地	518,173	518,173
リース資産	235,272	235,272
減価償却累計額	△190,938	△214,466
リース資産(純額)	44,333	20,806
その他	2,454	2,454
減価償却累計額	△2,454	△2,454
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	1,742,759	1,782,017
無形固定資産		
ソフトウェア	12,078	9,981
無形固定資産合計	12,078	9,981
投資その他の資産		
投資有価証券	159,763	163,267
長期貸付金	72,867	70,766
敷金及び保証金	1,888,466	1,887,905
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	231,711	231,106
その他	130,287	141,548
投資その他の資産合計	2,583,097	2,594,593
固定資産合計	4,337,935	4,386,592
資産合計	6,860,627	6,716,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,849	87,007
短期借入金	80,000	80,000
リース債務	45,599	21,877
未払法人税等	162,852	130,842
賞与引当金	84,710	64,100
株主優待引当金	17,760	7,649
その他	391,066	310,474
流動負債合計	885,838	701,951
固定負債		
リース債務	1,225	176
役員退職慰労引当金	79,608	66,790
退職給付に係る負債	143,293	143,514
その他	34,821	34,821
固定負債合計	258,948	245,303
負債合計	1,144,787	947,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,062,078	1,063,097
利益剰余金	3,936,514	3,983,410
自己株式	△118,836	△114,191
株主資本合計	5,651,438	5,703,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,883	24,781
その他の包括利益累計額合計	21,883	24,781
新株予約権	4,066	4,160
非支配株主持分	38,451	36,688
純資産合計	5,715,840	5,769,628
負債純資産合計	6,860,627	6,716,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,923,231	3,954,472
売上原価	492,916	473,643
売上総利益	3,430,315	3,480,829
販売費及び一般管理費	3,190,087	3,262,640
営業利益	240,227	218,189
営業外収益		
受取利息	798	882
受取配当金	984	1,081
受取家賃	14,576	14,663
受取保険料	2,784	5,399
その他	6,027	3,469
営業外収益合計	25,169	25,496
営業外費用		
支払利息	306	274
不動産賃貸費用	2,149	2,126
撤去費用	204	149
その他	3,763	2,540
営業外費用合計	6,424	5,090
経常利益	258,972	238,595
特別利益		
受取補償金	203,957	—
受取保険金	44,270	—
特別利益合計	248,228	—
特別損失		
固定資産廃棄損	5,515	6,469
役員退職慰労金	36,782	—
特別損失合計	42,297	6,469
税金等調整前四半期純利益	464,903	232,126
法人税等	181,219	96,454
四半期純利益	283,684	135,671
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,870	3,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,814	132,274

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	283,684	135,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	619	2,897
その他の包括利益合計	619	2,897
四半期包括利益	284,303	138,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,433	135,172
非支配株主に係る四半期包括利益	3,870	3,397

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	464,903	232,126
減価償却費	122,765	106,471
株式報酬費用	1,220	813
長期前払費用償却額	13,268	14,072
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△46,383	△12,817
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,270	△20,610
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△9,883	△10,110
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,902	221
受取利息及び受取配当金	△1,782	△1,963
支払利息	306	274
固定資産廃棄損	5,515	6,469
受取補償金	△203,957	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,919	△38,598
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,884	3,590
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,824	△16,842
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,000	6,906
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△117,272	2,272
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△74,676	△60,405
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1,865	—
その他	39,269	△10,119
小計	177,039	201,749
利息及び配当金の受取額	1,176	1,453
利息の支払額	△306	△273
補償金の受取額	203,957	110,217
法人税等の支払額	△34,686	△126,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	347,181	186,667
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△26,721	△26,722
定期預金の払戻による収入	26,719	26,721
長期預金の預入による支出	—	△100,000
長期預金の払戻による収入	—	100,000
長期貸付金の回収による収入	2,675	2,675
有形固定資産の取得による支出	△271,214	△178,825
敷金及び保証金の差入による支出	△72,015	△19,913
敷金及び保証金の回収による収入	16,000	16,515
その他	△12,888	△12,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,444	△191,643
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	—	5,184
リース債務の返済による支出	△24,735	△24,770
配当金の支払額	△79,039	△85,131
非支配株主への配当金の支払額	△2,400	△5,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,174	△109,877
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△96,437	△114,854
現金及び現金同等物の期首残高	2,207,775	2,127,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,111,337	2,012,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。